

# 令和2年2定 予算特別委員会知事総括 開催状況

開催年月日 令和2年(2020年)7月2日

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

担当部課 総合政策部政策局参事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>四 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策について</b></p> <p>これまで第4弾にわたる、道の緊急対策、この対策規模は、1兆2,800億円ということでありましてけれども、予算総額としては5,088億円、その5,088億円の財源ですけれども、国庫支出金が2,273億円、中小企業総合振興資金貸付金に関する諸収入が2,783億円、この2つの合計で5,056億円ですから、予算総額5,088億円をこの2つで既に99.3%になるということでありまして。つまりこれは、道の一般財源の活用は極めて少ないということになります。</p> <p><b>(一)知事の現状認識について</b></p> <p>6月以降自粛の段階的緩和によって、残念ながら直近においては、新型コロナウイルス感染者が再び増加傾向にあります。まず、道内の感染状況や社会経済への影響、これらについて、知事の現状認識を伺います。</p>	<p><b>(知事)</b></p> <p>感染状況などについてであります。6月以降、道内では、176名の新型コロナウイルス感染症の新規感染者が確認をされておりますが、その大半は、いわゆる「昼のカラオケ」における集団感染に関連する方であり、現在、集団感染が発生した施設を所管しております札幌市及び小樽市において、詳細な調査が行われているところでございます。</p> <p>また、感染症の影響が長期化する中、中小・小規模企業の皆様をはじめとする道内の事業者の方々を取り巻く経営環境や就労環境は、大変厳しい状況にあるものと認識をしております。</p> <p>この感染症については、今後も長期にわたる対応が予想され、道としては、現在の第2波を抑え込みながら、第3波以降に備えた感染症対策の一層の強化を図るとともに、社会経済活動の段階的な拡大を図っていくことが重要と考えております。</p>